

## 令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1)都立大泉特別支援学校 学校運営連絡協議会
- (2)事務局の構成 主幹教諭＝事務局長、副校長1名 計2名
- (3)内部委員の構成  
校長・副校長、経営企画室長、主幹教諭4名 計8名
- (4)協議委員の構成  
明星大学教育学部常勤教授、練馬区立小中一貫教育校大泉桜学園学校長  
大泉障害者支援ホーム次長、西東京市生活介護事業所 LifeDesign あくと施設長  
練馬区重症心身障碍児(者)を守る会会長、  
本校PTA会長、本校卒業生、本校卒業生保護者 計8名

### 2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1)学校運営連絡協議会(第1～3回)の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和7年6月5日(木) 内部委員8名、協議委員6名  
協議委員委嘱  
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題、  
本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回 令和7年11月6日(木) 内部委員7名、協議委員6名  
学校経営計画中間報告、校内学校評価教員アンケート報告、見学  
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価(アンケート)の内容検討、協議
  - 第3回 令和8年2月4日(水) 内部委員8名、協議委員6名  
学校評価(アンケート)集計結果報告、分析・考察、提言まとめ  
協議委員からの教育活動に対する意見
- (2)評価委員会(第1～3回)の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和7年6月5日(木) 内部委員2名 評価委員3名  
今年度の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察  
今年度の学校評価の実施に向けた検討
  - 第2回 令和7年11月6日(木) 内部委員2名、評価委員3名  
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
  - 第3回 令和8年2月4日(水) 内部委員2名 評価委員3名  
評価報告書(原案)及び提言の検討

### 3 学校評価アンケートについて

- (1)学校評価アンケートの観点  
学校経営計画の実施、児童・生徒への指導について、保護者への適切な情報提供の観点で実施する。
- (2)アンケート調査の実施時期・対象  
・実施時期 12月  
・対象 保護者、教員(非常勤教員は除く)学校介護職員、児童・生徒、
- (3)主な評価項目  
経年変化、立場による違いがわかるように、それぞれの対象への評価項目について同じ内容での聞き取りを実施した。  
学校経営計画、学習指導、人権教育、個別指導計画・年間指導計画の利用・活用、  
外部専門家の活用、生活指導、進路指導、特別活動(校外行事)、交流教育、健康・安全、施設・設備
- (4)参考として令和7年度に向けての令和6年度学校評価アンケートに基づく提言を示す。
  - ①ICT 機器活用のための環境設定と更なる学習環境の整備・拡充
  - ②進路情報について情報提供の継続と最新情報の発信の充実
  - ③教育活動の情報提供において様々な方法での広報活動の検討と改善

- ④医療的ケア保護者待機の早期解消の更なる推進と全ての関係医療機関との連携の充実
- ⑤教職員一人一人がより自らの働き方を意識できる働き方改革の実施

#### 4 学校評価アンケート結果の詳細

##### (1)回答数及び回答率

	( ):対象 人数	回答数	回答率	令和6年度 回答率
児童・生徒	(4)	4	100%	100%
保護者	(90)	53	58%	80%
教員	(57)	57	100%	100%
学校介護職員	(25)	25	100%	100%

##### (2)結果集計の方法

各項目の選択肢別(「1非常にそう思う」、「2そう思う」、「3あまりそう思わない」、「4全くそう思わない」、「5わからない、該当なし」)

##### (3)結果の分析

###### ① 評価の特に高い項目

###### 「安心安全」

設問1(保)おさんは友達や教職員と楽しく学校生活を送れている。

(教・CG)事故防止の方策を適切に実施している。

設問2(保)おさんが安全に学習するための環境を整えている。

(教・CG)清掃や整備などの環境改善ができています。

設問3(保)おさんの健康観察やけがの処置、体調不良時の家庭への連絡を適切に行っている。

(教・CG)児童生徒の健康観察やけがの処置、体調不良時の家庭への連絡を適切に行っている。

###### 「学習指導」

設問8(保・教)本校は個別指導計画を保護者とともに作成し、指導に生かしている。

(CG)個別指導計画、年間指導計画などを読んで授業に向かっている。

設問12(保・教)本校の学校行事(大泉祭、遠足、宿泊行事等)の内容に満足している。

(CG)本校の学校行事(大泉祭、遠足、宿泊行事等)の目的を理解し支援を行っている。

###### 「情報発信」

設問17(保・教)本校は情報発信(お便り Classi ホームページなど)を丁寧に行っている。

###### 「接遇その他」

設問19(保・教)本校は保護者の相談に対して親切、丁寧に対応している。

(CG)本校の教員は保護者の相談に対して親切、丁寧に対応している。

###### 【① に対するまとめ】

「安心安全」設問1、2、3は保護者の100%が「1非常にそう思う」「2そう思う」と回答している。その他、各項目においても良い評価をいただいた。今後もおさんが安心して楽しく学校生活を送っていただけるように努めていく。

###### ② 評価のそれほど高くない項目

###### 「学習指導」

設問9(保・教)学校生活支援シートは支援機関と共有するなど各家庭で活用できるように説明等をしている。

(CG)私は学校生活支援シートの役割を知っている。

設問11(保・教)一人一台端末は学校や家庭で活用している。

設問13(保・教)本校の学校間交流は各学部で十分行われている。

(CG)本校の学校間交流の計画を理解し支援を行っている。

設問14(保)副籍交流を行ってみて今後も続けたいと考える。

(教)副籍交流の実施に当たり苦労している。

(CG)副籍交流の意義やルールを理解している。

###### 【②に対するまとめ】

・学校生活支援シートについて

このシートについて、保護者の理解が進んでおらず活用するにいたっていない。保護者が活用しやすいように具体的な事例を示し、丁寧に説明を行っていく。

・一人一台端末の活用について

学校では積極的に授業等で使用していますが、設問項目の「家庭で活用している」という文言が保護者の評価を下げる結果となった。今後は学校で活用した様子などをグループ便りなど通して積極的に発信していく。

・学校間交流について

毎年小学部・中学部は全学年が大泉桜学園と、高等部は新座総合高等学校と大泉桜高等学校の2校と交流している。今後もお互いにとって良い交流になるように取り組んでいく。

また、交流の様子もお便り等で発信していく。

・副籍交流について

副籍の意義「地域に根差した交流」ができるように副籍校と連携しながら取り組んでいく。

(副籍を希望しない方もいるため結果にばらつきがある。)

③ 評価に著しい差が生じた項目

「進路に関する情報発信」

設問 18,19(保・教)本校は進路に関する情報を適切に提供している

設問 15(CG) 私は、進路に関する指導の流れや社会状況を理解し支援を行っている。

この項目について、保護者・教員と学校介護職員(以下 CG)の間に著しい差が見られます。学校全体(教員、CG 含め全員)での情報の共有不足が表れている。時差勤務等の勤務形態の事情から CG が全校研修に参加することが難しいことが課題の一つに挙げられる。CG が学校教育に関して認識度を高めるために CG 会での研修や悉皆研修、校長研修等を積極的に設けて取り組んでいく。

(4) その他

・アンケートの回収方法について

本年度も Forms でアンケート集計を行った。昨年度までは紙媒体併用で行ってしたが本年度は Forms のみでの回答にした。回答率向上を目的にするのではなく、Forms 回答のみでどのような結果が得られるのか、という視点に注目して本年度は取り組んだ。今回の結果をもとに、どのように取り組むと広く意見を募ることができるかの視点も考慮して情報発信をしながら今後も Forms での学校評価アンケートを実施していく。

・スクールバス・医療的ケア専用通学車両について

今年度も段階的に保護者の付き添いを解消した。「東京都医療的ケア保護者付添い期間の短縮化事業」により、入学前に検診を行うことや検診の予定を教員と看護師の連携をより密にとることで、今年度一番早く待機が解消されたのは4月 25 日であった(吸引・気管切開、吸引・胃ろう)。校内での保護者の付き添いがすべてなくなったのは1月 19 日(気管切開・人工呼吸器・酸素流入)であった。(該当児童が6月～12 月まで入院していたため実施が延期になった事情がある)

5 考察

令和7年度の学校評価アンケートの評価項目で「1非常にそう思う」「2そう思う」の回答が多い状況が見てとれる。一部の設問項目を除き、教員・保護者・学校介護職員の評価にも大きな差はなかった。一方で、防災に関する取組みに関しては避難訓練など保護者があまり目にする機会も少なく、積極的な情報発信の必要性がある。また、令和6年度にも課題となった GIGA 端末を用いた学校 DX 化の推進や副籍交流についても、授業の中でしっかり活用していく工夫をしていくことや、副籍校への情報発信をより一層努力して改善していく必要が感じられる。また、学校生活支援シートに関しては、活用方法等について保護者の理解が低い結果となった。書式についてもより活用しやすいものに変更する必要があると感じる。また、進路に関わる学年になると関心は高くなるが、小・中学部での進路学習等の充実が課題となっている。ただ、いずれの課題も一朝一夕で激変できることはないので、今回の評価結果を念頭において学校で作る様々な計画の中に具体的な取り組みを計画し、実践していく。